

海の声

VOICE OF OCEAN

地域の皆様と保護者の皆様と
子どもたちとわたしたち
御所浦小でおこすステキな奇跡

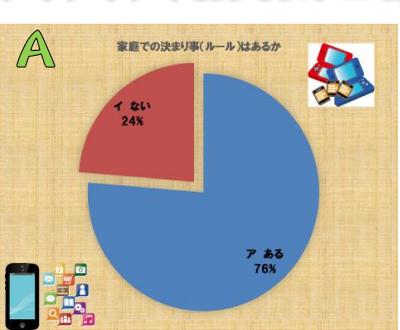


WE WISH YOU A MERRY CHRISTMAS & A HAPPY NEW YEAR

2020年が終わります。
 ちょうど1年前、2019年が終わるとき、だれがこの状況を予想できたでしょうか？本当に激動の、そして世の中の価値観が大きく変わってしまうような1年でした。
 だけど、その中でも変わらないものがあります。それは子どもたちはその中で育ち、そして成長を続けるということです。整えられていない環境が必ずしもマイナスではないと考えます。子どもたちが育ちゆく未来の社会ではそんなことは日常茶飯事だと思います。だからこそ、今ある現実を私たち大人が咀嚼して、子どもたちがわかるように、子どもたちのこれからの成長の糧となるように、話していかなければと思います。
 そんな中、御所浦小学校の保護者の皆様には、この困難な状況の中、子どもたちのために、学校の教育活動にたくさんの温かい声とご支援をいただきました。見守ってくださる温かさに、私たちはたいへん勇気づけられました。判断を迷うような決断もありましたし、それはどうかと思われる場面もあったと思いますが、くみ取っていただき応援してくださいました。本当にありがとうございました。
 年末年始のコロナ感染症対策については、先日プリントを配布させていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。



☆☆☆情報通信機器に関する調査から☆☆☆



グラフは本校児童の情報通信機器に関する調査結果です。子どもたちが回答したもので、実際とは少し違う点もあるかと思いますが、ご一考いただければと思います。
 まず、子どもたちが迎える情報化社会は、ゲームをやればなしにして、個人情報漏洩を気にせず、自由にネットを利用できる社会ではないと思います。情報機器を有効活用し、仕事やプライベートを充実させていく人々と、ネット社会に利用され搾取されていく人たちが分かれると思います。両面あると思います。私も活用している面もあれば、なんか搾取されている面もあります。
 左のグラフ「A」で「ルールがない(と思っている)」子が24%います。そして「B」で「ルールが守れていない」子が50%います。この2つに相關関係はないでしょうか。「ルールがない(と思っている)」ことを肯定しても大丈夫でしょうか？
 また、「C」の「フィルタリングを外しているまたは理解していない」状況を受け入れても大丈夫でしょうか？子どもたちは、ゲームのやり方や各種アプリの操作方法は自ら学びます。それはおそらく大丈夫です。でも、ネット環境の危険性については大人が教えてあげないと、子どもが自ら学ぶということは少ないかと思ひます。「冬休み、出かけないからゲームもやむを得ない」という構図が成立しそうですが、こんなときだからこそ、それを整えるチャンスかもしれません。

御所浦小学校
 学校通信
 令和2年12月24日
 文責・木村純一

18

だれの言葉でしょう？

「Happy XMAS! A very Merry Xmas And a Happy New Year Let's hope it's a good one Without any year Meriーkuri Xmasmas」
 そして新年おめでとうよい年になるように祈ろうよ何の恐れもない年々めい

クリスマス、お正月、と続く冬休み。今年も少しづつかわらないのは愛だと思ひますが、いかがでしょうか。ジョンレノンに想いをよせて。

私たちの想像した以上にネット社会は進化しました。「歯磨きしたか」「顔洗ったか」「お風呂入ったか」「宿題終わったか」とかつて土曜の9時前にザドリフターズが言ったのと同じように毎日の生活習慣の中で「ゲームの電源は切ったか」「使用時間は守れたか」ということもチェックしていく時代です。
 「情報を有効活用し仕事やプライベートを充実させていくか」「情報社会に搾取されていくか」は、子ども時代の過ごし方にかかっているような気がします。

